

沖塚原の歴史聞き取り

沖塚原公民館

10月24(土)

お年寄りの聞き取り

山崎 松波さん松波さん真ん中行ってくだはらんけ、前多さんも 堀 こしの湖やらなんやら滑川にあるとか言うてね神社から古文書出たとか言うてねああいうもんにや今日のニュースやったがけえ、なんか滑川の神社から宮から百何十年前に立て替えた神社があったんでまた修復するがになんしたらそう言うのとつた書類と言わいいかなんかが出たと今日新聞に書いとつた 山崎 松波さんこっち来られ青木さんもこっちこられ・・・山崎 ならあの一松波さんをお願いして無理して来て頂いたんでもう岸さんにも来て頂きたかったんですけど岸さんなん今日出れんは言われてそでまた機会があったら聞いてきます。何でも思いついた話に成ると思うんで・・・青木さんの方からなんかないけ 青木 調べてみたりしたんですけど資料てきになかったもんで石碑のなかになんか書いてあるあるが山崎 おわもいま初めて聞いたかいけど 青木 どっかで見たような 前多 忠魂碑け 青木 そつでなかったかな 山崎 どっかこんがらがとるがじゃないかなー 青木 塚原小学校のがかなー 前多 あそこには石碑ちゃん書かんだつもりです石碑はないです。え 山崎 前多さん皆さんに入ってくだはれ言うて 前多 そう言うて言うのとるがですけれとね 皆で(入って下さい) 前多 石碑みたいもんないでしょう私もいろいろな人に聞いたがですけれどなーいや歴史をたとえば上牧野とか牧野にある撲管塚とか特に由来書き見たいもん書いたもんじゃないですわね・・・上牧野はちっちゃいのがあんがですけれど撲館塚ちゅうのがあるがですけれど ? 彼処には 前多 宗長親王の ? 子孫でつんだって来た家来の碑があるがいちゃ下牧野には・・・ 山崎 おわ情報が他の集落の情報とこんがらがとがでないかと思うがいちゃ 青木 なんやら寺塚原なんがかね 松波 ある日おわとこの墓の向かいの方にだいやら行き倒れなった人の埋めたちゅ埋めたちゅ話をしておわちゅうのおじさんにあたるあらべのあの人たっちや若いときかね・・・掘ったら骨が出てきたたらちゅ話は聞いとれどもそんな程度で 堀 あんた所のあらべなら若い自分なら近い話ちゅね 松波 それはそれ埋めたもんは前の話ながいちゃその自分ならあるわ無いわ言うて掘ったら人の骨が出てきた言うて話何やらそれがえーとどうやったいのこれな年とつたらみんな忘れてきんえん様やらなんやら様言うてきんえんちゃどんな事やらあるいわくに様ながかよそんさのじいはんなきんえん様きんのう明治のあのきんのう様 高木 尊皇とか勤皇とかと言う 松波 あのなまったがでないかと言われとつたそのへんがあったがやらわからんわけやちゃね何か位のある人が京都からどこからやしらんねど言うて来て行き倒れなったちゅう噂があつちゅう事聞いたことあるがいどねもちゅっこ詳しい事しつとる人ね年の行ってしゃつ人でもちゅっこ解ろうけれどね・・・そんな話を岸さんがもうちゅっこなんか聞いてしゃつかもしれんは 山崎 あの人のお説て言うのか推定はあの近くにその館ちゅう字があると館・・・館(たて)館(やかた)だからそのへんとの関連であるいは・・・はつきり人は言えないけれどもその牧野へ来とられたその宗長親王やっただけ 前多 宗長親王 山崎 その人の金竜ちゅう事が金言になったがかなーそんな考え方しとられるがいちゃ と言うのはそれにもね死んだことについてちゅっこ書いたんがい

ちゃ ひたら岸さんがその本読んでこの死んだ場所わからんけちゅていわるんがいちゃね、て言うのは場所とのいわるだんとう場のその死んだ人と何かこうくっつけたいらしいがいどね、だんとう場ちゅう言い方ちや本当は卵塔場ながいちゃ だんとう場ちや火葬場ちゅうことやちや 火葬場のことを卵塔場と言うが 高木 どんな字書くがね 山崎 卵の塔、いわる昔の卵塔の墓あるにき塔、たまごとえーと 高木 とうは 山崎 東京タワーの塔土偏のほりゃ・・場て言うて 松波 卵塔場ちや墓場じゃないがけなんけ 山崎 卵塔ばって言うのはあくまで卵塔ちや火葬場いわる死んだ人を置いて置く場所て言うあとから火葬になるから火葬場が卵塔場ながいちゃ 高木 それが現在のだんとう場 山崎 それが現在のだんど場になったがいちゃ ?だんとう場言うたっちゃ今ちよっとおらっちゃ首切ると思とれど 山崎 そいつはちよっと違うがね ? そんな所もあるがね 山崎 これは全国的にはっきりわかるとるがいちゃしかもあの卵塔場ちやねあの知っておらるやろうね真ん中なにもないでしょう、真ん中あいておるでしょうそして周辺に墓あるでしょう、真ん中木あったりして空いてますね。そて周りにずっと墓あるからあくまであこは火葬場しかも北風が火が北風が集落へまともに来るでしょうあつから火葬にするところやちよっとみんな迷惑やちゅんでおわとこのあの近くのあるあこへ移ってそてあこの、あこやと南西の風が多いからあんまりだ一も迷惑かからんそこまでは調べてあるがいちゃ・・・あの一首切り場ちゅその断罪場ではないがいちゃ 堀 だんとう場ちゅう所は日本にあつても本当の首切つただんとう場ちや少ないがらしいね日本全国調べても 山崎 さらし者にするその、だんとう場言わんとだん首場とゆう首を切る場所ええ・首をだん、頭切るのがでない、首を切るがいから・・・ん 川口の帯刀さん帯刀正印さんのおとうさんのかへいさんが・・の葬式の時の写真があんがいちゃその写真のタイトルに卵塔場前と書いてある。火葬場前の事、卵塔場前 高木 卵塔場になつとる 山崎 よしの助さんの家にあるはずやわえ・・ だから岸さんの説がうまく浮かびあがりゃね・・そのある人が死んだちゅうことと あこ、勤げん様の墓やとゆうことがうまくいきや 高木 結びつくがいと 山崎 ん・・いわる古い時代の交渉が出来んがでないか、そう言う事をおそらく今日来られてもそのこと言わるんがでないか思ったがいけどね・・・青木 ちよっと話し変わるがいけどね、神楽川言うたらここからどこの方に流れてどういふふうな形で・・水路みたいがちゃどこの方にあつたもんけ神楽川じゃないにしても 高木 神楽川の本流け 松波 ずーっと昔のがけ 堀 どれくらい昔のがけ 山崎 知っておられる聞いておられるだけでいいがです。 青木 何か舟どっかから・・やっぱあ一 舟で物運んだりするもんで・・・米らち舟に乗せて運んどつた・・・ 松波 あのほう北高木まで行つとつたもんやろうか、ほでほうあんた所の所に舟あつたがいちゅ子供自分に確かそこから上ちや舟行かなんだ 高木 んー 青木 あこまで 山崎 おわとこの前では止まってもとつたがいちゃ 松波 あそこにはおわっちゃ子供自分からあこにあのあこ、前多はん所とそれから岸さんと奥村と三件商売したはつた舟三艘あつたがいど 山崎 それとあの途中に神楽川の途中に船橋ちゅう所があつたがね布目行く途中の船橋言うてなん知られんけ 松波 船橋けああやつたら下やにき 山崎 おらおそらく道ほれそこで向こうへ行くために舟こう、舟で渡って行つたがでないか 青木 船橋 山崎 富山の船橋みたいにあんな豪勢なもんでないけども二艘か三艘横に並べて、そう言うがから来た言い方でないか思うがいちゃ 青木 あるていど通っていくかれる 山崎 三つか四つあの川のあの幅いく位あつたですか 松波 舟すれかえる

ほどやったぞいね三艘ほどじゃ少しくらいあったかも知らねどもすり変えあっちゃこっ
ちや 山崎 おわとこの前で14~5メーけ5軒から7軒けほどでなかったけね、あこ
で舟ほれ松波 あこでぐるっと回れたけでね上って来て下つてくとき新湊行くときは舟い
っぺん回転せにゃならんけで舟の長さは十分なけんなんなんねね、堀 そのこたその当時
の舟も短かったて 松波 舟に米何表位積んだもんかね 堀 14~5俵やったちゅがでな
いがけなんとたくさん積めんがいちゃあの 山崎 底つかえてしもがいちゃね 堀 朴木の川か
ら神楽川出るような20俵ほど積んような舟でぢやないがいちゃそいより小型になるが
いね・・・え 松波 寺塚原はあこまで行つとんがいちゃ勝山さん所の 青木 勝山さんの前の
方 ああ お宮さんの所ろけ 松波 なんなんあこでなしにしょうきちの佐伯さんのねあの
堀 隣と言わいいか、松波・・・の背戸から 堀 中村ふたきさんの 青木 お医者さんです
か、はいはい 松波 おわとこのおっじゃおつたところこちになれどもあの横までしか
行つとらんだらしいです。あこは、なんやったいのあ何川やったいの 堀 ふな川言うて
松波 おら田んぼでかいと作つとつたがれど川の名前さえ忘れてしもうて 青木 ああいう
ふうな所まで田んぼ作つてはつたがですか 松波 あの川ずっと六三割やどもあの川の縁
に田んぼでかいと持つとつたおわ田んぼもつとつたがの半分ほどあこへ直接水落としと
つたけで 山崎 それはね、あの一 寺塚原と沖塚原がいわいる田地割りがいっそん割なが
いちゃ寺塚原、沖塚原一緒に割んがいちゃ と言うのは寺塚原、沖塚原ちゅもとがね・・・
その一つの集落やつたがいちゃそれがあつた時の大水で分断されたかっこうやちや それ以
降向こうが寺こちが沖塚原になった、だからそういうふうな田地割りの関係でしかた
のない事やちや・・・ええ

こないだある地図見たらね境あつたでしよう変電所の跡 松波 ええ 山崎 あこ寺塚原領に
なつとつがねやっぱりね飛び地としてあるが 松波 いまあのライスセンターあるあこに
も寺塚原の領あつたがいちゃそれあの 堀 それからずとこちの昔おらちや言うた
とてんとてんと言うたあこにも寺塚原の領 山崎 それがいわいるそのほらくじ引き田の
名残なながちやあのねたとえ沖塚原にその千石あつたとするやろう二十石を一本とし
てその五十本くじ作るがいちゃ、と言うのは沖塚原でもこちやつたら上田とか中田と
か下田とかあんもんだから年貢米の関係でそ、耕すもん入れ変えんにゃんかわいそうや
にき加賀藩のね、あの・・・改作法ちやその地面の肥とる所とやせとる所とことか作り
にくい所とか色々あるでしよう絶えず其処におる百姓に公平に渡るように二十年ごとに
高木 ローテーションした 山崎 入れ替えしとんがいちゃねその時に何処当たつちゅうがでくじ
引きするわけそしたらくじ引きしてそのくじ引きの中で今度また割つてあるもんでそこ
でおまえ何処ここそう言うくじ引き引き方したそやから寺塚原の境、ちゅうのはそのく
じが改作法によるくじ引きが行われなくなったためにそのまま残つたがでないか
と思うがい・・・ええ そう言う事から寺と沖塚原は一そん割ちゅ 松波 いま言うとられる
話しいなごしさんな昔村会のいなごしさん寺塚原とその交渉して沖塚原からそん時に頭
よかつたかね駆け引きがじょうずやったか寺塚原にあこね、沖塚原の所ではね一番おぞ
い所ばつか寺塚原に渡いて 皆 笑い・・・そん時の交渉にあたつたもんにやうまいこ
とやったやつてしゃるて言うてつしゃつたてあるがとちよつと覚えとるがいちゃね 堀 そ
う言う面もあろうけどね 松波 それもそう言う徳川の末になつたらもうそれほとんど実
行されておらんらしいけど 山崎 そうそうそう 松波 もう20年ごとのがもう20年どこ

ろかそこまだ少し前から・・・・山崎 藩の改作一番最後のその必ず地図のこんがい
ちや あの・・あんた聞いたことないけ一番割とか二番割ね 一番割ちやくじ一番ちゅう
が言うてそう言うがなつとつから、それがね・・・・一番最後になったのがね文化文
政で終わりやったがでないかな 松波 寺塚原とわけたがちや明治のあのあの時に分けた
がでなからうか 山崎 それはね明治7年から8年にかけて分けたのはその地検を交付す
るがいちや 松波 そんな時の最後の交渉がおきてながとしてその寺塚原その地面の悪い所
へ分布していったなんかそんなこと言わっしゃったようなきがすんがいてねちょっと覚
えとるがいてね 山崎 いわゆるあの一・・石黒高樹の何になっかね、孫になっかね、北
本りつちゅう石川県会議員おんがいちやね彼はここらあたりの全部ん・・・・地検交付
ための測量やつとんがいちやだからその時の物一番最後です・・・・え 松波 何かそんな
時の交渉がそう言うぐわいで沖塚原の地面の年貢の安い所ばっかね寺塚原の方持って行っ
て良いところはこっちが取ったりなんかその前は混じつとつたなからうかねその辺がわか
らんがいちやねその辺は山崎君が詳しく調べてっしゃるからようわかるね 高木 川口の宮
袋川口とよにとると近年まで生産組合一緒やったがでないすかこう昔は30年位前ま
では 山崎 だからね一川口の境は何処境えかわからんもんやから川口宮袋入会地名前な
んがね 高木 そうそう 山崎 そんなが川口宮袋場合はその庄川の洪水によるつぶれ地を川
口と宮袋が都合の良い所へ入って行って開墾したわけやね 高木 ええ、え 山崎 そんな
あんなぐしゃぐしゃに成ったそや六渡寺のあこに一杯あるがちや六渡寺と三ヶ新と中伏木と
伏木新とねぐっちゃくちやになつとつたがいちやん だからこののがと性格が違う 高木
なるほど 山崎 どっこにでもあらいね 青木 小杉の方もこんながなつては入りくんどる
山崎 そうそう 堀 境界にや松波の後ろまできとる・・・・松波 寺塚原の地面家の背戸の
方なつとつたがこっち南側の方ず一とこっち・・・・山崎 高岡市放生津ちゅう所もあるも
んね・・・・堀 高岡市放生津ちゅう所もあるもんね・・・・放生津の飛び地やつたがい
にき 松波 あれどうしたがいね 山崎 結局高岡 堀 今でも高岡高木 今でも高岡け・・・・松波
姫野のどっかあの辺け 山崎 そうですあのなんやらちゅうパチンコあるにき・・あのこ
っち側 松波 岐阜軍の出しとつた地図にちょっと書いたつた5万分の1の地図あれにの
つとります・・それはしつとるがい放生津の飛び地があんな所に有るちゅう事・・青木
ここでちや産業みたい昔から、藁作ったりいろいろ藁とか絹とかなんかやったはつた事
あつけ産業言うたらあれながいけど 松波 藁のこた、あんたあの一 山崎 塚原全体やちや
ね 松波 藁縄冬の仕事に藁縄ぬ一とつたが特殊なもんでなからうね 青木 藁草ちや 松波
藁草ちや家にも作つた事もあるし、おわ子供自分までおわとこ家で作つた畳や言うてこ
の畳の畳の三倍も四倍もある太い畳あつたですよほいつてしばらく何年作つたがやしら
ねど家作つた事あるいうて・・・・それも何年頃やちゅう事がおら聞いたことないもんでな
んわからんがいね、畳こりゃ家で作つた言うて織つたつた畳や言うてそやっぱ一 家
でおつたがらしい・・藁の筵織つとられたけでね、おらの爺さんが・・山崎 それをね一
朴木に発したもんであつてもやっぱ一沖塚原のふけだとかあつたらねあつところ栽培
するだろうし、あの一おわ自身がちちやいときに、かすりのちちやいときよつめけ、
かすりの着物をおばあさんが織つてはんがいちや、こおら織つたがでの一言うてそつで
昭和25、6年頃までねまだ不完全やけど機織り機械ね天へ上げてあつたわけや、そで
なぜそんなことだろうかと思つたらこの前え言うつたようにおばあさんの姑さんち

や朴木から来たはるもんやからあいつは金に成ると嫁はんお前織らっしゃい言うてこっから始まっとながでないがか思て・・・松波 うちらでもやっぱ一・家でも織ったがいにきね、まだあこになかるかの一・・・紺色に染めたあの 高木 あい染めの 松波 木綿の糸が 高木 糸 松波 はた織るがのあったれどもそんなもんなよになつてしもうた。山崎 こたつの下がきになつとつがようないけ 松波 なん糸そのままでこのつったことあってまだ織らずに・・・高木 木綿のそつこさタンスには一杯何でも有ると思うがいけど、こちらのほうで織ったもんけ^{かすり}なら色々全国あるがいけど 堀 自分の着物は^{こうて}おおかた、す綿 買 うてやねす入れてそして回いて・・・山崎 松波さんたち若いときに桑の木ちゃ相当あったもんですか 松波 桑、明治なつてからまだずーとあった 山崎 ずーとあったでしよ 松波 まだ屋敷にこんなが一切つても切つても^{こうて}竹藪の中にある^{まゆ}山崎 それやっぱ一明治のなごりやと思う。と言うのはあの一絹糸 買 織るよりも蚕育てて繭から絹を取つて糸作つて織つた方が自分の収入なつからね、おそらく朴木でも桑畑だいぶん残っとながでないけ 青木 いちおう村田さん所に残つとる 松波 家の前の道の墓場あるにかいねあこ細い川流れとつたれど・・・で用水あったがね仕上げ場あったがね家の桑言うてこだけほどの桑子供自分にあつたが・・・そつから聞いとんが井波のたいしでんに参る時に井波まで繭かたんで行くがいと参んに行くときに・・・蚕つくつて行くときに繭になるでないけ ・皆 笑い・・・繭をねあこまで持つていけばやっぱ高らと売れたがかどんなが、あこまで昔から井波まで七里ある言うもんにか 朝暗がりに起きてあこまで歩いて行くがやつたっちゃ一日仕事やね 皆 そやね一 松波 繭やけで軽い言わ軽けれど参んに行くがにそんな話し聞いとつがね・・・山崎 おわひよつと思ひ出したがいけど松波さんの何代か前にこの集落の肝煎りやつとつたがいちゃねなんかそんなもんの記録とか話しなんか残つてますか 松波 記録なんもないわ 山崎 ああ 松波 しつとるもんにか背戸にある柿木一本だけ・・・笑い・笑い 松波 柿木二本残つとつたが柿木一本おわきつてしもうしね、もう一本の残つとるがね一 山崎 あの明暦の頃のあんたとこの間取り図かなんかあつたがでなかつたですか 松波 いつのけ 山崎 明暦かそこらの古い頃の 松波 それはないわ 山崎 何か一回間取り図みたいが見たことあるがけど、肝煎りの家ちゃ普通こんなもかな一と思つた記憶にあるがいちゃ 松波 おら前の家ね一おつたがいけで今の家たてつしやつた時の建つまいの日はおら前の日においと、茶の間だけに品物はいつとつ所だけ覚えとれどね子供は邪魔やちゅうがで分家でも連れてつて・・・皆・笑い^{たち} 館まいしとんがに覚えとらん理屈ないが前の日覚えとつがに前の家ちゃどんな家やつたか全然覚えとらんがいちゃ もうね一あんな事覚えとつちゅう事はその其処の方だけ覚えとる座敷の書院あんにきね、書院の細かいさんの障子ちよびつと覚えとるがいちゃ さんがね最近そう覚えとんがでないかちゅう事、そう覚えとるがいけどね、そんなで、そのがより何処のが見てそんなこと覚えとつたたろか思うて、書院がついとる座敷らしかつたれどそのあとどんな間あつたやら全然覚えとらん自分の寝とつたところしらんけでね、そであの一家建つたがちゃ 昔の数えで五つの時や言うて皆 あ一ん 松波 ちよつこ覚えとらんなんぜんぜん覚えとらんにかね 青木 覚えとらんかもしれんわいね 山崎 青木さん所の家にか今の家の肝煎り時代の図面ぢやないもんけ 青木 いっぺん^{おすま}襖はぐつてみりや一 皆 笑い・・・青木 加賀藩からのはありました石川県 山崎 んん 青木 でかいとあつたが燃やしたな・・・文書でかいと、あつたがいけとね・・・山崎 あんとこ（高木）にな

んないけ 高木 いやないわー もしあるとしたらずっと上の方に何かこうおそらく板みたいもんに墨ででこう書いとる杉の板みたいがにね、やー・・・紙に書く言うたら相当な格式がある言うか、そう言うもんで残しとる言えば 青木 明治頃のがはあるていどあのー高木 明治位に入ったら何んかあつかもしれんちゃ 山崎 そんがね石黒高樹がね自分でちやんと間取り紙に書いとんがいちゃあこも肝煎りやからん、そたらなんか肝煎りの家ちやなんか一定の規格あったがでないかーてな事思うとるが 高木 規格があった・・・私とこの大工入ってた時、大工さんが言うてはった江戸時代は肝煎りでも二間以上の間取りちゅう物は取れなかったんでないかちゅう事言われるがいちゃ二間半と言うのは明治以降だと言われるがいちゃーんそで家の家が二間半なとるもんであの一珍しいもんでないかな言うて言うたられた、めったに二間半張りちゅうのは江戸時代には許されなかったんでないか、そんなこと言うたられた 松波 そっよかあの帯戸言うてね普通のもんにや帯戸入れられなんだ言うて 高木 そう言いますね 山崎 ああんええ 松波 帯戸の仲居にこだほ前を削ってね溝入とつが 堀 筋が模様やちゃねそつと筋入れて引き手の方に模様唐草の模様入れたりした、そう言う帯戸ちやおら年寄りから聞いとっだけやれどそう言う帯戸入れる価格ちゃ 村の肝煎りか何かやるもんでなかったらその帯戸を入れられんだちゅうがいちゃ・え普通のもんにや帯戸や言うて明治来てから帯戸入れた人おれどべった一としたこんだちや帯戸のがいちゃ 松波 だけど徳川時代普通のもんにや帯戸入れられなんだらしいがそつでそう言うがにしたがその帯戸まだおらとこに納屋になかるか 高木 私とこの帯戸も間に白いが道がしとるがそうなとつたもんでそんがまた30年ほど前にあの今の何か合板見たいもんでそこを埋めたえ二間半の方に入とるがですけれど杉の一部が 山崎 余分な事せんでもいいがに 高木 そんなが 皆 笑い 高木 だけどそのなごりなんだろうと思うがいちゃね 松波 おらとこの帯戸はね二間の所入とるがいちゃね 松波 おらとこの帯戸はね二間の所入とつわ 高木 さ古いもんですね 松波 それもその家も天保の後でで建とる家やけで 青木 そしたら屋根瓦なんか言うたら家紋の入った屋根瓦、鬼瓦ですか家は家紋が入った鬼瓦ある 高木 おそらくそれはぜんぶ明治以降だわ 山崎 そこら辺り来るとよくそのわからんがだけでも 青木 鯨あがとるわ 山崎 加賀藩の制約ちやもの凄く厳しいがいちゃね、だから五箇山の村上家でも名木し全部はぐってあんにきね貼つた名木まで外されとるがいちゃね、だからはっきりと跡残とんにきね、たとえば普通の百姓やったらあの屋敷30部に決まるとんがそしたら肝煎りの場合は何か特別な物あってさらに戸村もつとつとなんか特別な許可があるはずや思うて、いろんなこう古い加賀藩史ずーと見て見つけども、そう言うその読みとりが浅いがかもしれんがいけどなんか制約がわからんがいちゃね、ん・言たらこう言う現実に松波さんの家やとか高木さんの家やとかあんとこの家を考えればどう言うものか形でてこんかなー思うて 青木 お寺のが言うたはったがいけど家半分になつとつちゅう話しながらいちゃで廊下ずーと行って家の入り口まで行とつちゅう話しやからなんか相当でっかい家やたらしいですお寺のが言わはるがではね、それをちよつと手書きにして書かあいいがかなー 皆 笑い 青木 なんわからんもんでそんな時代に生まれておらんから、そんな話しをしたはったけど・・・結婚したとき槍とか刀からいっばい持って来た言うて聞いとんが 堀 明治の初年までやつたちやこころ辺りはまっでくず家か藁屋根ちゅうね栢言うもんかその家でも相当の家でなかったら角だされんだがいちゃ横

へ 皆 んん一 堀 ぐず家のまっすぐ前に角でとるぐず家 松波 こやって屋根あるね後ろ横
に 堀 その角を出す時は裏角うらつのだけ出されんちゆかくと両 角出りょうつのだいていかくとあつたらし
いこれはまだ明治の初年までそんなようなやつらしい・・・え 松波 くらんさの家最近
まで角あったにき 堀 どこいね 松波 ごんさにつのあったにきぐず屋根やけどもぐず屋
根 堀 ちっちゃいくず屋根やれど角出されたが 松波 この村で角あったがあこの家だけや
った、あれやったっちゃ角すみの所に雨漏るもんでね 堀 すみ雨入ってならんがけれど、
今雨晴の方にあるにある武田家あこは角あるがでないけ両角・・・松波 まだあつけ 堀 あ
こは両角でとるらしい 高木 あれなんかは立派な肝煎り戸村の 山崎 やあやあもつともつ
と 高木 特別立派なもんやちゃ 堀 肝煎り戸村ちゃ両角かけらるんがいちゃ肝煎りまでは
かたずのより 山崎 どう言うていいかな五段階あるがいちゃ一番上はおふちにん戸村こ
っから縁にもらえるやつその次ねひら戸村、ひら戸村とおふちにん戸村の間にもう一つ
なんやらあったかなその次にひら戸村の下に戸村があつて戸村の下に戸村なみちゆやつ
があるがそれからね、おわわそ角とかそんなこととわからんがいけれどもこれはなんか
・・・おわどっかへ出る場合の服装に違いあんがないか思うが、たとえば金沢へ呼び
つけられたとその時になんかこそれによってあーおふちにん戸村とかこりゃひら戸村と
かわかる用になつとるがでないか思うがいちゃ・・・ん・・・服装しかないわけながいちゃ
・・・ん・・・え そののがようわからんがいちゃ 高木 袴かみしも か何か家紋とかねなんか違わ
しとるがか 山崎 で松波さん所にはその・・・肝煎り時代の掛け付けみたいもんちゃ何も
ないですか 松波 なんない貧乏して・・・そつでも屋敷あの・・・むせいきちもつとつてむ
せいきちちゃだいたい排水だとか用水の縁の土上げ場ねおそらくあの・・・最近まであの
・・・片口かあの辺にはさする場所あったにきそんない所あつたがでないけそんな話し・
・新港作った時そんな話しでとつたことあんにきそんない中に土上げ場言うても三尺の
四尺のもんでなしにかなり広いもんとつてあつてそしてそんな時、高何百あつたしらねど
も相当持つとるもんやからそう言うむせいきちちゅ高におおじてみんな持つとつたらし
いそれをこんだっちゃ貧乏して売ったがは整地のあるとこだけ売ってむせいきち持つと
つてそれを作らしておいてその年貢で家の屋敷の年貢しとつたがいと、そつで屋敷残つ
とつがいとそんな話し聞いとつがねでおわとこの家貧乏した時にあんま貧乏して何処行
った行方不明になつて何処で死んだやらわからんがいども、おっじゃ綿屋へ放生津の宮
林へあこへつこてもろて船に乗って北前船け大阪へ行く船に乗って船頭さしてもろたが
いと船頭になつたらね船五人乗つてったか十人乗つてったかしらねどその頭にいばつと
つたわけやてだいぶん家もゆつくりしたら母家ほっかつとくわけいかん言うて娘おらと
こに持ってきてそしてあんたとこの本家この本家から婿むこはんもろてそしてあと前のあつ
た屋敷家建てたがその家があのださき言うとつた書院のついとつたそんな家である家な
かつたろうかと思うがいどもそんな時建ててそれが天保の末頃やと思うがねなんでそんな
こと言う言うたらおらとこの今でもまだある墓ねその放生津のおっじゃが大阪へ通かようとつ
時に墓石買うて来て立てて放生津の専れっさんに立てたその墓きにくわんで今また立派
な墓たつとつわいねその墓古しいが前のがもろて来てまだおらとこにその墓につことれ
どもそれに塚原屋ぜんざい門と書いて天保の死んだ人の年号ねあの・・・最後に死んだが
であの天保何年やら書いてあつたけど今で字、石やみかげ石やど石わるいけではやね・
・字はや読めんよになつてしもうてね、あのじぶんにみかげの墓言うたら・・・山崎 そつ

ね瀬戸内海から運んできた 高木 小豆島かどっか 山崎 北前船があこ兵庫あたり行って帰りそこ・・・だから新湊のあこほれ白山社あるでしょう道標あつでしょう三ヶ新に道標あんがいちゃこっち何処行くこっち何処行くあの道標ちゃね明らかに瀬戸内のかこう岩なが、そどうしてあんがか白山社を立てたあまりで立てたがでないか、ん・・・だからあんた所瀬戸内のかこう岩 松波 どっかそや瀬戸内まで行つとんがいから帰りに買おてきとんがいちゃね 青木 何々の 松波 塚原屋ぜんさい門塚原から出て行つただけで塚原からでていっただけで家の屋号はぜんざ衛門やけでね 青木 家の墓はなにになに土なにになに尼ゆうて書いてある土尼言うて書いてある安政と天保ともうボロボロになってきとるけど 山崎 で松波さんの今の話を続きだけでもその塚原屋ぜんざ衛門ちゅのはおられたのは墓だけでなしにおわとこの宮に北前船の絵馬あんがいちゃそれが嘉永二年の絵馬ながね、奉納してあるがいちゃ 松波 船の絵の方だいぶん剥げしもとれども 山崎 そつと同じ絵柄がらがね堀岡の明神にあんがです・・・え 松波 同じ人が書いたちゅ事ながです 青木 明神言うたら水運の関係の・・・え 山崎 北前船持つとつから・・・で僕はなんか・・・あ書いた人の名前も入ってましたね、なんか右の方に入ってましたね 松波 なんか書いてあるわ 山崎 何かメモしとったがいど名前忘れたんで・・・そでねあ言うやつはね、どう言うてかな一 こっちで頼んで書いてもらう場合とそこにいっば一い、ならんどがをこくれっしやん言うてもろてくるがとあんがないか思が、で六渡寺の日吉社にあるやつは日枝神社にあるやつはその船の名前もちゃんとこ書いあんがいちゃね・そいつはもう頼んで書いてもろうたもん、向こうにならんどんがそっこくれま言うたやつは、お店その依頼主だけの名前書いてある、ひて同じい絵が寸法計つとらんがいけどほとんど同じだと思ひます明神のやつも、出来合で買うてこらはつたがかな一オーダーでなしにん・・・と思うて見とつたが 青木 漆喰かなんかで絵馬 山崎 護符んやわいね 高木 護符んやわたぶん木に、木の板に漆喰のがちゃあの・・・たぶん小杉の竹内さんこの近年まで 山崎 竹内げんぞうのがは、おわとこのお宮さんにもあるけれどもこでいは漆喰で固定 青木 お宮さんに奉納してあるのありますからね 山崎 そつが今ほら北前船で一番詳しかつたあの高瀬保さん亡くなつたもんだから・・・ん おわその写真持つてつたらあのまた調べてみます言うてそれっきりなつとつが 松波 誰やら家来てあこ宮へ 山崎 あれは野村さん言うてあれも亡くなつて 堀 あの人まだやっしやっけ 山崎 亡くなつた 堀 そうけ 山崎 亡くなつて彼が調べとる新湊市内の神社をまっでパソコンに入つとつがいちゃん、あんたに言うつたらそのフロッピーを引き出そう思うつけどもあこの家文房具注文してもおらおらん時ばつたか置いていかはんがいにき・・・皆 笑い・・・山崎 見たら机の上に文房具置いてあんがいど留守の間ばつたか 青木 本当になんかそつだけんあればもし 高木 本当やね 山崎 そんがねそこの家行くほどひたしいないもんやからね・・・高木 その野村さんの文房具ちゃ家は何処なかいね 山崎 な一ん全然どう言うて良いか文房具屋ちゅ文房具じゃないが 高木 場所ちゃ何処ながけ 山崎 市役所の後ろの方 高木 市役所の後ろの海の方行つたら左手側でないですか 山崎 あれはでかいが、がまだや 高木 野村ちゅ姓でなかつたけ 山崎 野村ちゅ姓あれば其処やわ 高木 文房具やさんあるような気する一度か二度あの一・・・何か買いに入つた事 山崎 彼はおわに野村貧乏具屋です言うて 皆 笑い・・・ 高木 その人やね其処の家やね一辺聞いてみんなね 山崎 亡くなつたお父さんパソコン持つてはつたフロッピー貸してくれんけ言うて 青木 どだけんでも呼び込めるがいけどもねあ

この近く行って仕事柄あこの方におるもんやから 山崎 今も文房具やってはっと思うよ
注文したら持ってこらはっから 青木 あそうけ 山崎 聞いてみて 青木 聞いてみるわ 山崎
二年前ほど毎日のように顔出しておったがいけど、だいぶん進んだか言うたら中間報告
します言うてってその内ころっと亡くなってしもうて・・・そすればあんたとこの諏訪
気神社もなんか彼なりに 高木 そうですね 山崎 絵馬も見てっとうろし・・・八幡宮の屋根
裏まで上がってちゅがいね 高木 ん・・・皆 笑い・・・高木 私所こないだ回廊と疎で
その他一部の方あの瓦のやり変えをしたんですよねあのやっぱりだいたい回廊の形態じ
しんが県内でもそういくつもそう無い言う事言っとられましたね・・・疎でがあるとか拝
殿に・・・奥殿、本殿の総櫓のあれは木町の材木屋さん来てあの大伴の八幡宮よりもまだ
良いがでないか言うて 山崎 こころ辺りで一番格式が高いがお宮さんやからね 高木 確か
にあの私ら素人ですけども見とって仕事細かい仕事してある 山崎 宮じたい大きいけ
れどもなんか何となくこ、品があるちゅうのかねなんかそんな感じしますね 高木 何か
良い作りしてますね 山崎 それとおわ疑問に思とっことな一ん解決せんがですがフクト
社ちゅ事聞かれた事ないですかフクト社あるいわフクビ社言うたられたかと思う 堀フク
ト社 松波 岸さんなんやら言うてっしやっちよと聞いた事あるがいけど 高木 フクト
社何をなんか 山崎 大国主の神子とが伝えられ 高木 沖のお宮さんに 山崎 え・と言うの
はねフクトちゃひょうたんの事ながいちゃひょうたんちゃ水に沈まないでしょう 高木
ええ・え 山崎 だからこころ辺りを 高木 フクトちゃどんな字書くの幸福の福と 堀 頭や
ったろう 山崎 な一やあのまたネ書いてほれ十、祈るちゅじあるにきネ線で寿ちゅ字み
たいが書くが禱 福禱社それがあのね明治七年の検地帳にこれ堀祥 雲さんが書かれたも
んに福禱社横と書いてあるがいちゃだから松波さんあたの聞いてはんがかな思うて聞い
てないけ 堀 おらちよと見た記憶あるがいども昔の絵図にね今のお宮のすぐ横に福禱
社城ちゅと書いてある地番あったちゃね田んぼになってしもとったれど福禱社領 山崎
地面て言う意味 堀 何処でどんな絵図で見たかねちよと絵図が神明社の・山崎 大島に
も福禱社ちゅがあったがやちゃねそのフクト社はね戸のと書いてあんがいちゃ一項二項
の 青木 よう山崎先生あこの方にあの・・・城見たいような形の台みたいが高いとこあ
った言うて言わっしやんがいけど 山崎 てんとのでっかい畑あったでしょうあそこは何んだ
ただらうちゅ事やちゃあんなでっかい畑ちゃあただけやねかね、しかも高いもんの 堀
てんとの畑けそうやちゅが 山崎 高い上大かかったいにかね、おわだちや 記憶じゃ自
分の身長位あったもんね1mあまりあったちゃ 松波 あこら辺だ高かったがでないがけ
堀 地盤としら高いところ 山崎 一つねこんな説は考えられないかちゅうことながいちゃ
ね、いわいる放生津城と火の宮城あっでしょう小杉の薬勝寺あんにき・ん、あこに火の
宮ちゅ神仏金剛の時代から火の宮と薬勝寺あんがいちゃね其処に火の宮城ちゅ城あ
ったがいちゃそと二上に二上城あっでしょうちよとどそのね、結ぶとあそこがその中継地
点になんがいちゃ・・・言うたらあそこがいわいるそのいろいろ連絡の中心だったがで
ないかな一だから策があったがでないかな一とまったくの推測 松波 おらに言わしたら広
かったかもしれんわいね 山崎 削って持っていっとするから 松波 明治になってからちよ
こでも田んぼ作りたいけでやけで畑の泥削って宅地へ持って来て、そこ田んぼにすんが
ね、なんでそんなこと言うたっちゃ家の地面おむらの横手のあの田んぼね今でも作る
とる田んぼあこ岸きゅうごろ佐やったがその屋敷家で買うてそしておわのおじいさんな

宮の屋敷にね其処の泥もっ^{かたん}こで荷担で六十過ぎてから田んぼへ出んとそしてそ宅地一つ田んぼにしはったがいちゃなんでそうししゃった言うたら家買うて家の分家・・今あこで分家しとる其処へ分家させるつもりでそこ買うたがいども井戸水でね、そこあの・・ちよっこ田んぼ作ってみたら米ひっどい取れた 皆 笑い・・よう取れた、でかいと取れたがいとそしたら良い田んぼになる田んぼの泥取って宮の屋敷今の本田^{ほんでん}の所作るがに自分の宮の屋敷に穴掘ってかって泥掘って高するがにねそして穴になつとるとこあつたら其処へまっで泥かたんで宮の屋敷の低いとこまっで持ってって田んぼにししゃった事聞いとっけで昔ほっだいもない目におおてきても田んぼ作りたかったがね、じゃけで今言うてっしやるてんとあこら辺でっかい畑残つとる言うけど低いところは、まだ畑でかいとあつたがでなかるうかと思うがいけど 堀 そやけでてんと畑の田んぼちゃあんまこだけんほどしかないがいちゃその下がまやちゃ 松波 おぞいところやっただけでもそこら辺一帯高いとこやっただんぼ欲してまだ、おわっちゃ覚えとる間^{かん}でないもっと広い畑のが畑やっただ城あつたかなんやしらねどもそう言う所やっただかかも 山崎 地形的にあれば等高線から見てねその入り込んどる放生津瀉がまだ充分に埋まらんで入り込んどつたがでないか思うがいちゃと言うのはその西っ側に江干瀉ちゅ所あるでしょう 堀 ええ 山崎 えぼし瀉ちゃね江干瀉いわいる干瀉を田んぼにしたからあの江干瀉て言ったんだらうと思うがいちゃそしたら其処まで入り込んでる水路から言うてどうも放生津から舟で其処へ来てそして火の宮城も二上城も丁度だいたい似たような距離ながいちゃね、だから丁度三角点ちゅうか三方向に案内出来るて言うような、そんなこと考えてみたがいけれども、そんなもんな仮説あつてね・・松波 放生津から今のライスセンターあるあこら辺な低いところで今でもあこの田んぼ雨降ったっちゃ水つく所やけでね 青木 川の跡とくにね 松波 海拔1mとるや言うたとこやけでね 山崎 朴木事件の発端やちゃ 青木 笑い・・松波 あつからこっちまで低い地面やっただがいろね 青木 あこの高い所言うたら川沿いなながけ、いま高いとこあつたが畑けあつた言われるが川沿いにあつたがけ 山崎 何 青木 ちよっこ高いとこあつた言うて 山崎 なんなんこれは北高木遺跡の隣こっち側 青木 ああん北高木遺跡のこっち側け 山崎 ええ、え 堀 沖塚原の南東やちゃね 山崎 あこほれブルで崩^{くず}いたでしようそん時なんか出てこんだもんかね 青木 荒畑ちゃぐつと低くなつとっにきね 山崎 なんなんどう言うて良いか北電のちよっここっち側に今の高木の遺跡あるでしようどっかここになんがいちゃ 青木 ここに遺跡あつたら 山崎 ほんのちよっこズレとる 堀 かまてやちゃそっこさこの近年まで整理せん前まであつた神楽川^{ほんま}の東側やちゃ其処はそのかんに 山崎 そんな夢物語みたいがおいてもうちよっこ本間の話し下さい。皆 笑い・・山崎 やっぱ証拠欲しいがいちゃね・ん 物語作るがちゃどつただけんでも作んがいけれども 堀 昭和9年の洪水で泥がみんな流れてしもうて来年田んぼ作るがに、がまの上ゆいつ刺しこんどつちゅそう言う地盤の高い所ながいちゃ 青木 松波さんの家には筆書き見たいもん何にもないもんですか 松波 何にも無い 山崎 おそらくいわいる村御印なねおそらく堀さんにあんがでないか思うね村御印な 堀 目にはいらんがでないけ 山崎 おそらく燃やいてはっら 松波 そこのごぼの横のけこないだあだけんにしはったけで、おそらく何もなよなつとらんかと思うがや 堀 こっちの堀さんけ 松波 そっよかまだ表^{おもて}はん所あるわ 山崎 あこの我はその今の 松波 分家してから日浅いけで明治になってからのもんしか無いけども 山崎 あこは明治やからねだから・・

それよりもそんなに付いて回るいろんな書き付けがね村御印のこたもう中身もわかつつしなもかも本間物^{ほんまもの}あつちにあつたらね 松波 堀さんにあるかの一わしあこ行ってあこの高木^{たかぎ}のあの石黒さんにけあの人についてね石川県まで測量にいつてしゃんにきね 山崎
そ、誰の時代かね、基信^{もとのおぶ}? (信基) 松波 どういう人やったかなわからん明治の前でな
かろうかと思うがいけどな明治成ってからなしにあの一 どの辺やったろうかの障子紙
のこだけんのがに書いてある地図ね二枚か三枚あったが、おらねちょっと見て見たこと
あながねそんなもんも、もう無いと思がねおそらく 山崎 何か竿取り人か 松波 ええ 山崎
竿取り人かなんかけ 松波 測量してそんながいちゃ能登の辺とどこやらとね、計ってきた
が言うてそんなが 青木 一人で出来るもんでないからね 山崎 チームあつたらね 松波
石黒さんについてあのその・・・竿持ちやってつしゃつたかなんかそんながで書いたが・
・堀 おかしい事に昔の記録はどっかにないか言うえどおわとこの村位やったつちやね
んな一よそから入ってきてそしてここへ入植して来た人ばかりやけでねそのころはそ
う言うような人やったつちや字ちやなんしらんもんやちや 山崎 明治 七年八年のね最後
の測量図がね寺塚原のある家にあながで無かちゅ話があつたがいちゃそしてそれ聞いたら
ご本人なおわなしらん、見たことない言うとつけどもどうもあの顔やたら嘘ついと
つがでないか 皆 笑い・・・松波 きつすん佐にね石黒さんがかかつしゃつたちゅ閉じたも
んにや 山崎 何処にですか 松波 牧野の大工さん家に 山崎 あつたがですか 松波 おら見
たことあるがい 皆 んー 松波 あんな字書いたつが見たしておら読まれんもんやけでな
ん書いたんがいやらわからかんもんやれどもそれ持ってきたつた事あながいれどもそれ
もどうなつとつやら今 山崎 そりゃ初耳や聞いてみんなんね 高木 そやね 松波 あこで聞
いてみられられりゃ大事にまたいしてあるかも知れんけで・・・中に何んのがやどうして、
あれだけがあこへ手に入ったまあ高木と親戚あつてあんなとこから回ってきたがかわ
からねども 山崎 そんがほれ山岳絵馬なんかでお宮奉納すつでしよ高樹のその中にね川
口にお弟子さんやはんがいちゃ・・・ん 高木 ほおー 山崎 そやども一番近い布目や沖塚原
にだ一もおらんがね・・・ん・川口にね川口村名前忘れたけどおんがいちゃそてどっかね、
お宮の何処のみややつたかな該当する宮あつらしいがいちゃおわみたいな一思いながら
な一そのままなつとつがいけど 高木 該当する宮言うたら西宮か 山崎 なんなんな・・・ず
ーつとそのとんでもない所・・・え・今現在もあるかどうか・え・あの人ね山岳、いわい
る山岳絵馬のね全部自分で書いとつが自分で 高木 ほお・山崎 え・解き方はなん書いて
ないがこんなが上げてありますこんなが上げてあります言うて・・・でおわその下の子の
旦那^{だんな}が高校の数学の先生やもんやからそいつコピーしておこつちよつこあわてんでいい
から一年がかりほどで解いてくれま言うて現代数学で解いてもいいがやいから言うて・
ん・いまだに返事なんせんがや・・・皆 笑い 青木 そつでやっぱ一すごい人やったがいね
山崎 四十二から勉強始めとんがい・・・ん・青木 俺の年やね一 皆 笑い・・・ 青木 勉
強せんなんね一 皆 笑い・・・高木 まだ大丈夫やちや 青木、高木 ほ一・・・山崎 四十二
まであんだあ・・・村の仕事したり、そやろ父親が早く亡くなつとつから 小泉 お茶入れ
ましようか 堀 干せたせんべい食べておちゃほかつとら 皆 笑い・山崎 牧野さんのが
本人な元気ならね 松波 こないだ死なつしゃつたあの人お父さんな、おらに言うてつし
やつた事あながいちゃあこ行った時 山崎 中村ただおさんに頼んでみや良いがかね 松
波 聞いてくだはれ 山崎 ね 松波 貰^もろて来るがで無いがでコピーでも 皆 んん 松波 中な

ん書いてあるがやらわからんがね石黒さんの書かしやっただがちゅやっと思とつがや 高木 こでやっぴりななかなかその古い書物、古文書言うもんは塚原地区にはあまり無いんですか 山崎 や・・・今そのあるのは明治以降やちゃ・ん 高木 江戸期のその 山崎 ないわ 堀 明治も中期まではおそらく沖塚原で字書かるる人はごぼのごぼはんと百姓の中で二人か三人しかやっしやらんだがでないけ自分とこの家の書かれる・・・山崎 そんがねおわっちゃね江戸時代の人は字書けない字読めない思うとつけどね全然ちごがいちゃ・ん・書けない人はもちろん多かつたけれど読めない人も多かつたけれどね結構一般の人読んどのがと言うのは沖船頭なんか言うたら何処で勉強もな～もしたらんがちゅねさいど手紙見たらどの船頭も船頭も本間に達筆やっただがしかも現在使われとらん難しい字を・・・ど言うもんかねおわ考え方かえんなんと思うが・・・ん 青木 やっぴり人間これだけ進化して来たがいけど交流ちゃ必ずあんがいいきね、そん中からやっぴりあの・・・盗んでくるていおうかやこやって山崎先生の話も聞いて一つしんちゅう字も覚えてきたがかだんだん広がっていく門だと思がいちゃ山崎 ねそんが交流だけでないがいちゃ明治四十年頃のね北前船の船頭字はね・こらまったひどい、字がひどいがでないが当て字だらけながいちゃさいども明治の初期の人の字あるいは江戸時代の終わり頃の字はねまっでつづけ方までいっしょながいちゃ・・・だからなん苦労せと読めるが、そんが明治後期なつたら読めんが、ねと^{ひん}言うのは教育が広くなると粗末になる雑になんがいちゃ 青木 レベルの^{ひん}高いて言おうか貧の^{ひん}高い人がやっぴりそれだけの 山崎 能力もつとつがいちゃねしかもその一般的に能力持とんが・・・ななん一人二人ちゅもんでなしにだからその船に今10人乗とりゃあのそのね例えば綿屋なら綿屋の方へ手紙書くでしょう、船頭もちろん書くちくも書くがいちゃそれから親父も書いとつがいちゃ、ひたら10人のうち3人あんた正確な良い字書けんがいからその他も 高木 その他も少し字わからんにやつづれんかかもしれんね・・・山崎 当直の時にほら航海日誌書かんなん、こころあたりみんな書いとんがい、^{うま}上手く無いけどね・上手もんの上手い上手いもんのだから江戸時代・・・途中録音なし・・・山崎 やあ黒船が浦賀に現れたが石黒高樹ないつ知っしとつと思とつがいね石黒家な三日後にもう知とんがいちゃ 青木 おおー 山崎 いかにか早いちゅ事やちゃ 青木 伝達の早さ 高木 早さね 青木 何でもそうやけど馬を乗り継いで行く 高木 馬乗り継いで馬、当時山あり谷ありやから江戸からあの上方まで持って行くがに四日かかるとつがいちゃだけどそれよりも伝達方法が他に何かあったがやちゃ 山崎 早いもんやちゃ 青木 奈良からでも途中途中に馬置いたつがいちゃ途中乗り換えやちゃ人間と同じ疲れるもんで 山崎 次馬だけでなくもつと例えばねそれ相当の何か方法があったないか思うが・・・例えば^{のろし}狼煙上げ方一つでも 高木 僕は狼煙の上げ方で緊急時の狼煙の火の上げ方そう言うがあったんだろう思うが暗号みたいなのが 青木 ここちゃ二上山の天辺登ったら見えるし能登あの一へ能登半島の方までみんな見える 高木 見えるちゃ 山崎 長堀さんに何かなかろかね副校長してはったもんの 松波 どうやらね聞いたことないね 堀 そう言う書いたもんはなんないわ、明治初年度の何はあれどもね・・・村じゅうの高帳^{たかちよう}とかそう言うもんは 山崎 むかいはんにあこの家も肝煎りしとらるっでしょう 堀 あこんとこの家にはなんないがになつとつがいちゅが 山崎 あこの家も肝煎りしとられんけ 堀 してはんが ほしさん明治までずーとやってっしやろう 山崎 きゅう衛門ちゅがずーとあつけども・きゅう衛門ぬけとつとこあるがね 松波 抜けとつとこあつて 山崎

え 松波 そこへんだわからんね 山崎 きょうわからんで抜かしてあったとこやども 松波 家やとったあとやけでねだいたい天保のころやけでおわとこ貧乏したがちゃそれからやけでその前はうちでやとっけでそれも家やとつるやら全然わからんしね 山崎 もう可能性あるが堀さんがどのていど燃やいたかってことと 堀 おもてはんだけやちゃ 松波 何処いっても邪魔なもんね燃やいてしもけでね、堀 むかいはんになけんなんらん思がいど思がいど家二辺三辺も焼けてはおらんがいれど、家建て替えしもてそして天ごみわっか一あるその中になんかあるがそれ全部一緒に燃やいとっつき 松波 家立て替えたっちゃしつとる人そでなかちやこんなもん古くさいもんやちゆがで燃やすがでかいとあるもんやちや 堀 やね壊い時位やつたっちゃ肝煎りしとつた陣笠らっちゃでもあったがいどこんなもん割れかかつとるぼいぼいと全部燃やいしもて・・・そっこさ家建てて燃やすが邪魔や邪魔や言うゴミやぜ 松波 むかいはんそのこた同じだいたい似た自分に分家してしゃるもんで肝煎りやってっしやっかも 堀 してっしやつたこつたしてっしやつた 山崎 たぶん一代か二代位やってっしやつたがでないか一ね 堀 今のおやっさんだっちゃでもその先代かおじいさんさんとはつき合いないもんやから先代との言い伝えだけ聞いとっだけで書類に残ったもんなんないがいちゃねおら長堀よりも向かいはんにまだなけんなんお思うとつがいど長堀よりも古いから 山崎 ここで初めて言う話しながいけれどたしかその・・・時代はいつなのかわからんだがおそらく殿村の 高木 本林とか 山崎 戸村しとつた殿村ちゃねあの戸村村から来た殿村ながいにかねあこ全部津幡江ながいにかね・・・ひて殿村言うとつがちゃ殿様おつた村やなしに戸村がおつた村やから殿村言うて言うがいにきねおらは考えとつが言うたらその代で五郎三郎ちゆがおんがいちゃひたら五郎三郎ちやこの堀五郎三郎でないか思うがいちゃね堀五郎三郎ちゅうか何代かあつて言うたら岸さんな五郎三郎ちやわりあいそんな遡れんと、そやいども五郎三郎ちゆ家あつたがでないかなちゅうて五郎三郎ちゆ家あつてつぶれてその堀さんから分家された人が五郎三郎の跡地へ入られて五郎三郎になったかでないかな言うて、おわもなんかそう言う意見に賛成ながいちゃね、ひいたら偽金作りやとつがいちゃてだい殿村のなんちゆ姓や・・・その偽金作りやとつがいちゃね、ひておそらくね戸村がやらせたがでないかと思がいども、それを自分が引き受けて藩から叱られとつがいちゃ、ひておそらく死刑になったんだろうと思うんれどもで、でその五郎三郎が途絶えたがでなかるるか、屋敷はあるがだから分家した時そこへ入つたのが五郎三郎やそでそのね偽金がね本林さんにあつちゅうがいちゃ 青木 でんごはん所に 山崎 写真まで持って来てきた人おんがこれや言うてんその人がおわに沖塚原に五郎三郎ちゆ家あつて言うて来とつがいちゃじゃ五郎三郎言うて五郎さの、あこやな思うてそんな家ありますいうて、そやど時代的に言うて岸さんにあこ家何代け聞いたたらちょっと時間あわんがいちゃ・・・ん、そんな次出て来たが五郎三郎ちゆ家あつて絶えていくらか空白の地面があつて其処入らはつて、て五郎三郎さちゅうて話し聞かれません・・・松波 そんな話しちゃ聞いたことなけれども、あんた言うたられる今前の人跡へ入つて前の屋号名乗るがわあるけでね 山崎 ある可能性あつらね 松波 おわとこのもんよんさがそやにきねあつらいね、こないだもんよんさ、言うとつたおらの聞いとつがで三代目や言うもんや家・・・前のもんよんさとまた後へ入つておつたもんよんさと・・・山崎 写真見るとね分銀見たいもんな、分銀です銀の延べ棒見たいもんな・おそら中ね真 鍮かなんかね外側だけが銀したつがでないか・現物見

たことないからね、写真見るとその可能性・・ひたら^{てだい}手代いなる人が沖塚原におったっ
ちゅ事ははっきりしとつがいちゃ沖塚原村五郎三郎とこう 松波 それが沖塚原におった
がけ 山崎 手代いしとつ位やからから頭も良いし達者な人やとそやども手代がおそらく
戸村がやらせてそのかわりにおら罪かぶりますてちゅがになつとつがでないがけ・・あ
る言は、藩が戸村じゃ^{がいわる}害悪いからお前代わり^{もんじよ}に來い・・そう言うがね、後から調べたら
県史にも書いたんがいちゃ富山県史にね、どこの文書から出てきたがかね 高木 偽金作
る言うたら大変な・・青木 富山藩とかああ言うなとこどんなもんですかね 山崎 富山藩
じゃなしに加賀藩、そやから齊藤さんの文書から出て来たがかあるいは宮、なんやっ
たけ今の本林文書から出て来たがか、なんかそこら当たりから出てきとるがかね・・青
木 お宮さんちや昔からここに、あんがけ 山崎 結局合祀社、だからフクト社と白山社と
神明社 青木 三つの合祀した・・何処の方に 山崎 白山社痕まだあつらいね、あつちに
松波 まだあつが 山崎 だからフクト社の場所が幻の場所になつとつがいちゃ、そやども
大体ここでないかちゅ事が解つとつがいちゃ大体検討つくがで・・だからご神体はフク
ト社のご神体が無いがでないか思うがいちゃ 青木 ご神体ちやどんな仏さんけ 山崎 仏様
や 青木 普通の仏様 高木 神仏混合の時の 松波 仏像と違ごうわね・・頭になんやら 冠
見たいもんかぶってつしやる 高木 神やそしたら 山崎 神様と仏様を折衷^{せつちゆう}して 高木 折
衷したようなもんけ 堀 白山社の 松波 白山社でないがや神明社の 堀 神明社のがは、大
日如来 山崎 大日如来はそつでおおとんが・・ん・天照おおみの神が仏の姿にならはつ
たのが大日如来 堀 これは黒なつてもとるけれど金箔の仏、それから白山社言うたら
観音様やちや白い 山崎 あこは、ほれ菊利姫でしょう白山の白山は菊利姫やから観音さ
んでいいが女やから 松波 この白山社は石ころやつた言うて聞いとる 山崎 それはね・・
そ 松波 おら見たことないもんで・・堀 その石ころちゅが見たこと無い石やちゅがは、
だからおらなんしたときの白山社のご神体と観音像・・松波 合祀してからの作つたがや
ろと思がいど 山崎 だから成願寺から拾うて来てもなんわからんがい・・堀 白山社の 山
崎 白山行つたいうて立山いつとつたかもしれんが 堀 稲荷社の神体ちやんなかつたぜ
稲荷社の稲荷社が合つちゅが 高木 稲荷社も合祀しとるがけ 山崎 なん稲荷社はなん神
社名簿に出てこんわ 堀 なんないがけ 山崎 だからそん時^{もん}は、もしなんやつたら江戸時代
にもう消滅しとつちゅうことやちや、あるいは、個人の物やつたかも 堀 なんやつたら
この宮け・・神主さんの・・ 山崎 個人の物んやつたらなん 堀 ここになん神主さん来
とつたが奉つとつた・・青木 大体合祀しとんがいねみんな 山崎 何処でもやがいね
・ 松波 大正から昭和の初め頃合祀するがに上の方からやかまし言うてきとんが 山崎 合
祀令ちゅうやつ出とつからね 堀 せんにやどうもならんだがけ 高木 明治の終わりか大
正の始め頃でしょうたぶん 山崎 二回でとつが 松波 おわ大正5年に生まれとるその後で
白山都合祀しとるがいから昭和に入つてからですぞ 山崎 神仏分離令が出てその次にあ
の一氏子の居らん宮とかあ・・集落の無い宮をまとめなさいてやつ出とつがいちゃ・
・あんがいちゃねやつば、あこの・・高木の水天宮あつたでしょう亀宮言うて高木のほ
れあこにあつたでしょう亀宮言うて高木のほれあこにあつたでしょう亀宮であつたでし
ょうそう言うちゅのは氏子もおらんにや集落も無いがいにきねそんなが、みんな・・青
木 亀宮言うたら荒畑にあつたね 山崎 そうそうそう・・青木 あこにお堂たつと建つと
つたわね 山崎 だからそんながは、一辺目、二回目は集落に二つお宮あつ所は二つ以上

あつ所は集めなさいと・・・時間が 青木 どうもご苦労さんでした。有り難うございました。いいお話聞かしてもろて 山崎 だんだん知つとる人が少ななって来てしもうてね、そでどう言うていいかな、きれいな話しに成って来るがいちゃね、ごちゃごちゃの話しじゃなしにかっこのいい話しになって来んが・・・青木 なんか歴史書を読んでこらっしやったような話し 山崎 きれいな話しになるとちよつとあやしいな・・・ちゅうがなんがいね 堀 ただちよつとおら思いついたように気になるが沖塚原はこう寺塚原から分村した言えどね 松波 板東から 堀 板東から分村け寺塚原の分村じゃないがや 山崎 な一ここねこの辺り全部を三歩市言うつたが 堀 ええ一 山崎 三歩市言うつたが 高木 全体を・山崎 ええ・三歩市ちゅうちゃその、三歩市ちやいわいる年貢米の割合やにき・・・33%の年貢米取るから三歩市、あっち行ったら五歩市とかあつらいねん、だからそれが結局その集落て言う形態は、とつとつたけれども集落としては、そのどう言うていいか十分周りから認められんだまんま、洪水があつたりして、おわそれは例の木舟城崩れのあん時時でないかと思うがいね・・・ん そこら当たりちや闇の中やは、どつたけんなんも・青木 資料ちや残つとらんがかね 山崎 資料ちや絶対残つとらん 堀 あんたおわその・・・寺塚原の沖塚原に元の先祖寺におつたもんなここへ来たがやゆもんや一人もおらんが・前多 今の人はずうですよ一晩しごかれた 前多・歴史を夜作つて行くから 山崎 ただね一おわ一聞きたいなて思つたが堀きゅえもんさんな荒屋にずいぶん土地もつてはんがいちや荒屋新湊、それをだれが買うとうとうたらね汐海すけ衛門がこうとるが 青木 船のね 山崎 そしたら売り渡し状あんがや、堀さんがどうしてなら荒屋に地面持つてっはんがかな・・・思うてね・・・高木 その逆ながもないけ放生津の人か高岡の方か他のほうの人がどっかこの辺 山崎 いっぱいあるらいね北前船で 高木 やっぱそうでしょう 山崎 儲けた人が 高木 儲けた人が幕末か明治に入ってから売買されたのが 山崎 な・・・ん^{にしん} 売るやろう^{にしん}のお金払えんでしょう米の値は下がる^{にしん}は高いそしたら土地で 高木 そこでおそらくあの・・・地主の格差が出て来たが江戸時代までそんなわけに、なん地主言うてもみんな大体平等ながいちゃただ戸村や肝煎りそう言うふうなが、あるけれども・山崎 そやから堀さんの場合まったく逆ながいね・あっちに地面もつとつてそれを汐海さんが持つとつがいちゃどうして荒屋に地面持たんなんがかな・・・思うて 堀 年代いつ頃いねん 山崎 明治十五～六年でないかな・・・おわコピーしたが持つとんがいども 堀 十五年頃から二十年頃やちゅがでないがけ 山崎 だからあんた所（青木）の家から来た金木さんへ来とるそのお祭りの招待状があんがいちゃ・・・さいろいあつらいねん 堀 その代に能登やつぶれとる能登やのつぶれた高^{たかこ}買うために荒屋の地面放いてこの能登やの高・ええずっと昔は、ほし様ちや沖塚原に二百石ちやなんなかつたがい言うて能登屋のが買うて二百石なつたが言うて能登や百二十石やつたが言うてそやけでそれ買うために荒屋にあった地面を売つたがでないかと思う 山崎 そんがね・・・不思議な事にあこ放生津ちゅ所はね共有地とか共有網がいっぱいあんがいちゃだから放生津で持つとる地面がいっぱいあんが、だから新湊町が出来た時に放生津と放生津新町から長徳寺から一緒やつたでしよ、そたら放生津の者なね、税金一つも納めんでもいいがね、と言うのは共有網から上がってくるほら網のお金から地面かしたる地面のお金からお金あるもんだから放生津のもんにゃ一つも税金納めとらんがいちゃね、かためて放生津町が出いとんが、片一方、放生津新町とかあこの周辺のも^{んな}皆・・・てんでんに出いとつが、だから荒屋がねおそ

らくね・その放生津町の共有地であったはずながにどうして手に入とっかちゆ事がわからんがいちゃ・・・ん・・・おそらく沼だのぐちゃぐちゃの田んぼやったろうとは思うが、其処へ汐海さんな北前船の蔵を建てとっがいちゃ・買うて・・・買うて建てて、しばらくたったらこんだ中瀬七造言うてね、きく屋へもうまたすぐ 高木 行つとる 山崎 だから堀さんがどうしてな思うて・・・売った理由はどうでもいい、手に入った理由がなん全然わからん・・・買うとっがなら解つよね、あの家はあのほれ製材・・・製薬人ながいね堀さんちゃ薬作って、ひてこう販売・・・売り子使こて、昔ね大きい地主ちゃみんなそれやったがい、だからそつで金入ったがで、何んしにそんな所買わんながが・・・堀 おら今その能登屋の高 山崎 なんなん放いたがは、手に入れる課程が問題なが其処がなんわからんが 高木 離れとるからね 山崎 そう言うもんがあつちこつち文書読んどつたら出てくつらいね・・・ここら辺りかして金木さんの地面から明野さんの地面からあつたがいね、六渡寺の方の 青木 そんながですか 山崎 もっと七美辺りあんた50%ほど橘の地面 松波 ここ50%の間できかんだろうがいね 堀 60%やちゃ 山崎 七美の場合橘さん一人で50%ほどやちゃ・え その北前船が没落するがと一緒にみんな離れて行くわけやにきね・・・山崎 ならこれで有り難うございました。みんな 有り難うございました。山崎 それどうけ割合評判いいがでね 青木 文書なんか資料館にねむとつちやね 山崎 展示会位ね・・・そんがね文書ちゃねどう言うて良いかな、時間かけんなん見れんもんなが・機械・器具やったら下むいても見れる 青木 そうですね 高木 そりゃ歴史の重みがちごからやちゃ 山崎 どうも有り難うございました。皆 どうも有り難うございました。